



2007年6月23日
株式会社 カトヨドットコム

Alpha Delta DX-LB ワイヤアンテナの調整について

平素はナカトヨドットコムをご選択・ご利用頂き、誠に有難うございます。

この度、KW局開設に伴い、ローバンド対応アンテナで Alpha Delta DX-LB をご選択頂いたお客様より、調整に関し有用な情報を頂戴しておりますので、ご紹介させていただきます。

以下お客様からのレポートを原文のまま掲載致します。(お客様ご了承済み)

〔DX-LBの件、参考までに〕

アメリカ本国では、3.9MHzにf0(共振点)しているので、日本国内で使用の場合、少し細工をした方が良い。

3.5MHz用ローディングコイルのL(インダクタンス値)をいじる方法

エレメントの長さを調整する方法

の2点を試みた。

の場合

Lをいじる場合インダクタンス値はオリジナルでは、95 μ Hですが、105 μ Hに(帯域幅は殆ど変化せず。)すると結構いいところまでいく。

の場合

エレメントの長さをいじる際は、概ね1.5mほど長くするとこの方法でも良好な状態となる。

(設置環境)

地上高5m、水平設置、多少ローディングコイルの重さで垂れ下がりあり。障害物は、殆ど無いが、テレビアンテナが給電点に近いところに有り。

設置環境により値が変わりますが、参考値となりますが、

1.9MHz VSWR 最良点 1.2 30KHz < 2.0 Z = 55オーム

3.5MHz VSWR 最良点 1.8 Z = 40オーム

7MHz VSWR 6.950MHz~7.150MHz < 2.0 Z = 50オーム

(7MHzは、フルサイズ動作ですから当たり前ですが。)

結構使えそうなアンテナです。